

2018年4月30日

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者：斎藤 篤二

1. 概要

歩行名称	山陰
計画区間詳細	スタート地点：鳥取港 ゴール地点：JR 境港駅
実施期間	2018年4月9日(月)～4月12日(木)
概算歩行距離	114.3km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー	篠崎 次郎	79	4日	
2	記録・報告	斎藤 篤二	79	4日	
3	記録	松田 治男	67	4日	
4	調査	坂本 徹	61	4日	
5	企画	松本 明子	69	4日	
6	調査	松本 美和	53	4日	
7					
8					

3. 歩行の概要

	月日	出発地～到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	4/9	鳥取大橋～姉泊	17Km	篠崎、斎藤、松田、、坂本、松本(み)、松本(あ)	
2	4/10	姉泊～逢東	35.3Km	同上	
3	4/11	逢東～淀江	38.3Km	同上	
4	4/12	淀江～境港駅	23.7Km	同上	
5		合計	114.3Km		
6					
7					
8					

4. 参加費 延日数 4日 * 6名 = 2,400円

1人当たりの費用。

レンタカー (ガソリン代) 8,640円(2,200円/1台*4日)

宿泊料 旅風庵 7,000円+税

鯉の湯 9,800円+税&入湯税

さぎの湯荘 16,400円+税&入湯税

その他 足立美術館入館料 2,100円 飲食費 4,500円 歩く会会費 400円

キャンホック鳥取観光者サポート △ 3,000円、レンタカー△ 3,000円(ともに1台あたり)

合計 51,412円(現地までの交通費を除く)

別に交通費は 東京～鳥取 13,040円、米子～東京 16,440円

5 歩き方

- ・ 3班(各班2名、初日は2班)リレー方式で歩きます。
- ・ 歩行の効率化のためレンタカーを併用します。
- ・ 地図を添付します。
- ・ 2017/10の実施予定が台風で中止したため再度計画しました。

6. 歩行の詳細

4月9日(月)晴れ 午前中は列車で東京、金沢、山梨から集合地鳥取駅に集合するレンタカー(トヨタのNOA)でスタート地点に向かう。

今回の海岸線区間(鳥取～米子)は大山の山麓平野でほぼ平坦な道路で歩きやすく、過疎の地域は殆どない。歴史文化的に因幡、伯耆の国(鳥取、倉吉、米子)として繁栄し現在に至っている。現代アニメ界で水木シゲルの境港やコナン博物館の街としても人気がある。

1班 松田、松本明、斎藤

鳥取大橋～鳥取バイパス～白兔海岸(白兔神社)約9km

14:00 1年前の終点(鳥取大橋)近くのニトリ駐車場から出発し、国道9号(鳥取バイパス沿いの歩道)を歩く。海岸線近くまで歩くと鳥取空港の誘導灯が海上に設置されているのが見えてくる。姿・色彩のきれいな“オオルリ”が遊んでおり、のどかな環境だ。

16:30 白兔海岸に降りて白波が打ち寄せる砂浜を散策し、目的地の白兔神社まで歩く。沖合に岩礁みちな「淤岐ノ島」があり、因幡の白兔が取り残されて、ワニを並べて陸に渡ったと言われている(はるか沖合の「隠岐の島」は誤り)。一般にワニはフカヤサメとみなされているが、司馬遼太郎はインドネシアに鱉を並べて渡る神話があることを根拠に、日本に稲作をもたらした古代越人の末裔が伝えたものと類推している

2班 篠崎、松本美、坂本

白兔～新町～東浜～姉泊(ローソンボプラ気高浜村店)8km

14:10 1班をニトリ鳥取店で降ろして白兔海岸の道の駅神話の里白うさぎに到着。天気は晴れ、神話「因幡の白うさぎ」の石像と白兔海岸を見学して出発。海岸線沿いの国道9号線を歩行するが、山陰高速道の未開通区間であるため交通量が多い。トンネルの中は幅の狭い歩道があるが、車の騒音が激しい。

15:20 新町の酒津第二トンネル出口にて休憩。交通事故で亡くなった26歳の青年の供養碑「命は宝 祈交通安全」があった。安全第一でいく。

15:45 浜村海岸の龍見台の展望台にて休憩。標高 29.9 mの三角点があった。これまで来た海岸線とこれから行く海岸線を見渡す。

16:30 目的地の姉泊海岸のローソンポプラに到着。

宿：浜村温泉「旅風庵」。夕食は名物の「しょうが鍋」(ショウガを仕立ての出汁に豚、野菜、きのこ)



初日スタート地のメンバー (坂本氏撮影)



大国主命と白兔の石像



古事記にある皮を剥がされ兎が着いた海岸



白兔神社はやけどにご利益と縁結び



貝殻節の里の旅風庵。大酒釜風呂はユニーク



夕食は驚峰豚の生姜鍋、生姜のかきあげ

4月10日(火) 晴れ

1班 松本美、松田

姉泊～魚見台～夏泊港～青谷～泊港 約12km

8:30 姉泊のコンビニから国道9号線に沿って歩行する。山陰高速道に向かう道路と分岐すると国道とは思えないほど車は少なく、快適に歩く。海に突き出た長尾鼻(地名)の中腹を国道が通っており、岩礁が発達している。秀吉の朝鮮侵入の後、鹿野城主に招かれた筑前の漁師、助右エ門が開拓したのが夏泊港である。漁港としてはあまり適していないが岩礁が発達しており彼はアワビ、サザエ、カキを獲る海女の親分だったようだ。

青谷からJR線に沿うように車の少ない国道が続いている。途中に鳥取県栽培漁業場があり、ヒラメ等の養殖を行っている。

ゴールの泊港に釣り人がたむろしていたので、トイレの場所を聞いたら、倉吉から来ているオジサンが公衆トイレまで軽四で連れて行ってくれた。本当に親切だ。昼食を摂ってから時間があつたので、付近を散策したが「海の駅とまり」も5月連休まで休業だった。唯一開店していた「コミュニティハウス」の100円コーヒー・抹茶を飲みながら、このあたりの風物や特産について講義?を受けた。玄関先に「ハナニラ」が咲き誇っていた。



漁村の休憩所に咲く「はなにら」



ユーモラスな魚見台展望台

2班 松本明、坂本

泊港～宇野～新天神橋～国坂(道の駅北条公園)13.2km

8:50 泊港に到着。天気は晴れ、日本海も穏やか。海の駅とまりなど泊港を見渡してから出発。

10:10 宇野海水浴場にて休憩。おばあさんが護岸に生えているツブキを採取していたので話しかける。

10:30 ハワイ海水浴場にて休憩。キャンプ場と展望台があり、夏のシーズンは海水浴で賑わうと思われるが、今は人影がない。休憩の後、鳥取藩台場跡を通過して、芝生産圃場を見ながら進む。鳥取県は全国有数の芝生産地である。

11:25 東郷湖羽合臨海公園にて昼食休憩。天神川の河口に位置し、広大な芝生と桜並木があった。桜は散っていたが、展望台からの眺望はすばらしかった。

12:45 北条砂丘風力発電所を見学。北条砂丘に9基の風力発電機があった。年間電力発電量26,900MWhで一般家庭の6,600戸の年間使用量に相当、事業費は28億円とのこと。

13:00 目的地の道の駅北条公園に到着。



泊港の全景



砂丘にある風力発電機

3班 篠崎、斎藤

国坂(北条公園道の駅)～妻波～大谷～逢東(オオツカ) 10,1km

- 9.45 「北条公園道の駅」からスタートする。道の駅とは名ばかり(建屋は閉鎖)で野菜・果物を販売する粗末な日除け屋根の店が1件。幸い駐車場は余裕があるので好都合であった。全線が殆ど直線の高速道路(一部開通)の側道を西に向かい進む。
- 10.30「大栄道の駅」。隣接地の整備された公園に鳥取藩の台場跡の由良台場の砲台があった。20世紀ナシは鳥取県が産んだ高級ナシ、早くも開花が始まっていた。

行程今日のコースは東伯地区で大山の東北東にあたる海道である。全行程平坦で左前方にうっすらと見えている大山は頂きと沢筋はまだ残雪が白い。大山の東奥に3つのピークの山並みが蒜山で、やはり頂きには白い雪が残っている。

11.30 妻波 12.00 昼食

12.20 このあたりで高速道路と分かれ一般国道に入り大谷を通過し、加勢蛇川を渡る

13.00 逢東(オオツカ)西でゴールに到着

今日の宿ハワイ温泉「鯉の湯」に荷物を置き倉吉の市街を見に出かける。土蔵の街をユックリ散策し明治大正の商家造りや、土産品店を覗いた。

民宿の夕食は蟹のコース、蟹三昧は食べきれないほど。大判振る舞いの豪華さだ。



早くも20世紀ナシの開花



蟹食べ放題と朝どりしじみ



白壁土蔵と清流の街 倉吉

4月11日(水) 雨のち曇り

全国的に春の嵐に襲われる。(天気図は後に掲載)

1班 歩行者 篠崎、坂本

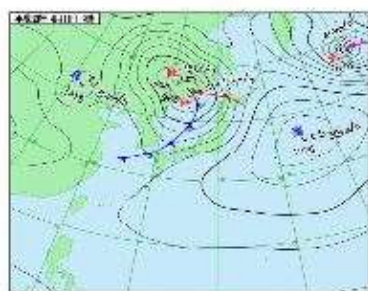
逢東～八橋～赤崎～田中（ローソンポプラ大山町田中店）11.6km

8:45 逢東に到着。天気は曇り、雨が降らないことを祈りながら歩く。途中で明治元年創業の山本おたふく堂本店があり、鳥取県の銘菓「ふろしきまんじゅう」を買う。

9:35 道の駅ポータル赤崎にて休憩。情報センター2階の展望室に上がるが、大山は雲に覆われて全貌が見えない。海産物直売所を見学し、鳥取県の海の幸の豊かさを感じる。道の駅を出発して間もなく雨が降り出したので、雨具を着る。

10:25 赤崎郵便局前にて休憩。強い向かい風の中を歩いてきたが、雨が止んだので雨具を脱ぐ。

12:15 目的地のローソンポプラ大山町田中店に到着。赤崎郵便局前を出発して1時間程度経過すると雨が降り出したのでコンビニに立ち寄り雨具を着る。目的地に向かって進んでいき、JR中山口駅入口の交差点田中に到着する。付近を見渡したがコンビニが見当たらない。スマホの地図でコンビニを確認したら、雨具を着たコンビニが目的地であったことが判明した。大山町田中店は最近移転したとのこと。



4月11日午前9時の天気図



展望台のある「道の駅赤崎」



疾走する JR 山陰線はコナンのアニメ柄



鳥取銘菓のふろしきまんじゅう

2班 松本美、斎藤

田中～赤坂～上市～豊成～名和 11.7km

9:00 「ローソン田中」からスタート、2車線道路を西に向かう。このあたりは山陰線と並行している。ご当地アニメまんが「コナン」を描いた車両の JR 山陰線が過ぎ去る。

10:00 岡(地名)で雨着を着ける。一時的に強風、大雨になりそうな天候だ。

11:00 幸い雨あがる

12:00 昼食(御来屋ミクリヤ)。再度の夕立ちを避け御来屋の町役場に立ち寄るとこの地で発掘された土器、剣などを展示ロビーで観ることができた。名和町は遺跡からの土器などの展示物で高い評価を受けていることを知った。この地域は過去に日本の稀少な製鉄法と製品(武具、農具)の産地として知られている。

13:00 ゴールの名和公園は海を見渡す高台にあり桜や緑樹に恵まれ静寂さがあった。

3班 松本明、松田

9:00 名和公園～10:40 大雀～12:00 平田～14:00 淀江(海浜運動公園) 約15Km
名和神社駐車場に車を止め、スタート。最初9号線沿いを歩いたが味気ないので、海岸線に近い農道に行く。この辺りは風力発電が盛んで、大きなプロペラの下の農道を通過しながらの歩行になった。牛糞の混じった肥料が道路に散乱しているのは興覚めだ。強風の中、大雀の先で国道沿いに戻り、単調な歩行に戻る。この辺りは大山町なので晴れていれば秀麗な伯耆大山が望めるはずが、次第に風雨が強くなり、大山消防署先のバス停で雨宿り&昼食となった。最後は淀江町を横断したが、一口に淀江町と言っても、米子市の海岸沿いを東西に延びた港町で、雨が降っていることもあり、ひたすらゴールの海浜運動公園を目指す単調な歩行となった。

この後、足立美術館は混雑しておらず庭園と横山大観の作品をゆっくり鑑賞できた。

宿:庭と古民家作り(移築改良)の日本旅館「さぎの湯荘」



足立美術館はスケールの大きい庭園



正面玄関は清楚、離れは合掌古民家 さぎの湯荘

4月12日(木) 晴れ

1班 松本明、斎藤

淀江～皆生大橋～皆生温泉～下谷(弓が浜公園)8.2km

9.30 淀江運動公園(スタート地点)から日野川まで国道の北側の海岸通りを歩く。

10.30 皆生大橋。中国自然歩道(砂浜の脇のサイクリング道)は皆生温泉ホテルの海側の道で、昭和天皇の行幸の記念碑がある。

国道9号に出て自衛隊駐屯地、米子ゴルフ場まで行く。

11.30 中継地の下谷(弓が浜公園)に到着

2班 篠崎、松田

9:45 弓が浜公園～11:30 アジア博物館・井上靖記念館 約7Km

米子ゴルフ場に隣接する弓が浜公園から歩行開始。産業道路沿いに櫨が植えられている。弓ヶ浜に沿って産業道路を歩行し、途中で一度砂浜に出たが、小屋掛けの住人が占有している場所があり海岸線は歩行不可と分かり、道路沿い歩行に戻った。白壁の立派な長屋門のあるアジア博物館・井上靖記念館では、日本海を囲むアジアの様々な国の文化に触れることができる。

3班 松本美、坂本

大篠津町～新屋町～中野町～岬町～境港駅 8.5km

10:00 大篠津町のアジア博物館・井上靖記念館に到着。駐車場には車がなく、レンタカーを隅に駐車して出発。天気は晴れ、海岸も穏やか、遠くに大山が霞んで見える。弓ヶ浜沿いにある快適な遊歩道を歩く。

11:00 境港おさかなセンターにて休憩。多くの海産物直売店舗が入っており、各店舗で試食

を強く頼められて多種類の海の幸をいただく。
11:45 境港の魚山亭に昼食場所下見のため立ち寄り先を急ぐ。
12:45 境港駅着。
境港駅に集合し今回の行程を無事終えた。

坂本さん推薦の魚山亭に豪華な海鮮丼に舌鼓を打った。
昼食後解散し、先ず松田さんが境港駅から伯備線経由で金沢に戻った。大山の麓を伯備線が走っており、車窓から大山の眺望を独り占め出来た。
残り5人は魚市場で土産を見出してから米子飛行場で5人で打ち上げを行い、坂本さんは翌日まで当地に留まる。鳥取県は、松江市に日14～16年、日19～22年の通算7年間居住したが、その間に公私に亘って足運んだ。昔と変わらないもの、変わってしまったものなど、思い出に浸りながら歩いた。先輩方の元気に歩行する姿と、条件不利地域でたくましく生きている人々の姿を見ることができて、元気をもらった。
東京組の4人は米子空港17:00の飛行機で帰京した。

鳥取県の乗訪者に空港と県内宿泊・レンタカー利用者にキャッシュバック3,000円の適用をうけた。



境港のゲゲゲの鬼太郎



境港市場の鬼太郎



弓が浜から大山を望む



伯備線車窓の大山は港のランドマーク



山控(3)全区間(高取大橋～境池田) 114Km

以上